

創立60周年記念 全国建設業労働災害防止大会 in 東京

2024.10.3-4



発行所
日本工業経済新聞社
〒113-0022
東京都文京区千駄木3-36-11
電話 03(3822)9211
FAX 03(3824)7955
URL: www.nikoukei.co.jp

支 局
さいたま／水戸／前橋
甲府／新潟／長野／松本

2024年

秋の労働災害
防止特集号

- ④
- ③
- ②
- 厚労大臣、国交大臣が祝辞
- 6つの専門部会が研究発表
- 吉岡事務次官に聞く

魅力的な職場環境を 創立60周年記念全国大会

建設業労働災害防止協会（建災防）の創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会in東京が3日と4日に開催された。初日は東京ビッグサイトで総合集会在、2日目は東京国際フォーラムで専門部会が開かれた。昨年と同様、現地開催とオンライン配信のハイブリッド方式。大会ローカンは、仲間の声で危険を防ごう、みらいへつなぐ職場の安全。

総合集会には約4,500人が参加した。あいさつに立った今井雅則会長は「建設業における労働災害は長期的には減少傾向にあり、年間の死亡者は当協会が設立された60年前に比べ、約10分の1と大幅に減少している。しかし建設業の死亡事故は全産業の3分の1を占めており、全産業の中で一番多い業種であることに変わりはありません」と警鐘を鳴らした。その上で「建設業が憧れの産業として、今後も安定的に発展するために、建設士に従事する全ての方々が安全で安心して働くことができる魅力的な職場環境づくりが非常に重要となってきている」と方向性を示した。

来賓の福岡資厚厚生労働大臣、斉藤鉄夫国土交通大臣の祝辞が読み上げられた後、小池百合子東京都知事からの祝いの言葉が披露された。大会実行委員長の建設業労働災害防止協会東京支部長・松井隆弘氏から、歓迎の意味を込めて大会の意義を紹介。続いて安全衛生功労者に対する表彰・顕彰基金による顕彰、大会実行委員長の細谷浩昭氏から「安全の誓い」が発せられた。その後は厚生労働省労働基準局・井内努氏の「労働安全衛生行政の動向について」の講演、和太鼓音楽集団・東京打撃団によるアトラクションがあり、脳科学者の茂木健一郎氏による特別講演「ワーク・エンゲイジメンを高めるための脳のつくりかた―不安な判断や行動をしないために―」で幕を閉じた。

4500人が参加した総合集会

建設業は夢のある産業

建設業労働災害防止協会 会長 今井 雅則



創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会の開催にあたり、ごあいさつを申し上げます。はじめに労働災害等おこるにやりになられた方々に心から哀悼の意を表すとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

全国建設業労働災害防止大会は、建設業労働災害防止協会が創立された昭和39年9月の翌年である昭和40年3月に第1回大会を開催して以来、会員各位をはじめ関係者の労働災害防止に寄せる熱意と協力の下に毎年開催してまいりました。今年もこうして東京都におい

て創立60周年記念大会を開催することができました。なことを、東京都、並びに関係各位に心より感謝申し上げます。

本年の創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会は、10月3日、4日の2日間、仲間の声で危険を防ごう、未来へつなぐ職場の安全をスローガンに掲げ、初日の総合集会を東京ビッグサイトで、2日目の専門部会を東京国際フォーラムで開催いたします。

なお、現地参加できない方や6つの専門部会が同時進行する当日現地でできなかった他部会の発表も視聴し情報収集したいという方のために、初日の総合集会、2日目の専門部会について10月7日から11月11日までオンラインで配信を行いますので、こちらもご利用いただけますようお願い申し上げます。

さて、建設業は地域のインフラ整備や経済活動を支える施設づくりなど夢のある産業です。また、災害時には復旧復興工事の担い手として、国民生活、社会活動を支えるという重要な役割を担っております。

しかしながら、近年、技術者、技能者の慢性的な不足、若手入職者の減少および高齢化の進展など、建設業を取り巻く環境は厳しく、働き方改革の推進なく、さまざまな取り組みを進めていきます。

一方、建設業における労働災害は関係各位の地道なご努力により、長期的には減少傾向にあり、労働災害による年間の死

亡者は、当協会が設立された60年前と比べますと、約10分の1と大幅に減少しておりますが、建設業の死亡災害は全産業の約3割を占め、依然として全産業の中で一番多い業種であることは変わりありません。建設業が憧れの産業として、今後も安定的に発展するためには、建設士に従事する全ての方々が安全で安心して働くことのできる魅力的な職場環境づくりが非常に重要となっております。

こうした現状を踏まえ、建災防では令和5年度から令和9年度を計画期間とする「第9次建設業労働災害防止5ヵ年計画」を策定しました。この第9次計画の目標の設定を目指し、建災防におきましては、リスクアセスメントの確実な実施の推進、建設業労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）の導入促進、メンタルヘルス対策や化学物質管理への支援、さらに各種安全衛生教育などの活動に積極的に取り組んでまいります。

なかでも建災防の重要な活動の一つである、全国建設業労働災害防止大会は、会員をはじめ多くの関係者が一堂に会し、共通認識を分かち合うことで、労働災害防止活動の大切さを再認識し、災害ゼロを達成するために尽力することを心新たに誓うなど、安全意識の高揚を図る場として開催しております。また、各種講演会や研究発表、安全衛生保護具等展示会において、行政の動向や安全衛生管理ノウハウ・好事例等の最新情報を収集し実践に役立てることも目的となっております。

会員各位をはじめ、関係者の皆さまにおかれましては、本大会を契機として今後より一層の労働災害防止にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

今回の大会につきましては、10月3日は総合集会として、東京ビッグサイトに於いて開会式、安全衛生表彰、安全の誓いの採択を行った後、厚生労働省安全衛生部長様から「労働安全衛生行政の動向について」並びに脳科学者の茂木健一郎様の「ワーク・エンゲイジメンを高めるための脳のつくりかた」と題する講演会を開催いたします。

10月4日は専門部会として、例年開催している建築部会、土木部会、安全衛生教育部会、低層住宅部会、OHSMS部会、他に創立60周年記念部会を加えた6つの部会を東京国際フォーラムにおいて開催いたします。例年開催している5つの部会では、会員企業等において成果を上げた安全衛生対策の好事例を各部会で発表していただき意見交換等を行うほか、厚生労働省、国土交通省の行政担当官の方から安全衛生対策などについてご講演をいただきます。

また、創立60周年記念部会においては、建設業界が直面する課題である「2024年問題と労働災害防止」「技術継承と労働災害防止」「職場環境改善とコミュニケーション」と題する講演と好事例の発表を行います。専門部会における基調講演としては、日本航空の現役機長が「Safety Managementの実践」と題して、日本航空における安全管理についての講演を行いますので、参加ください。

なお、安全装置員等のメーカー等が出展する、安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会を、10月3日は東京ビッグサイト東8ホール、4日は東京国際フォーラムガラス展示棟地下1階ロビーギャラリーで開催いたしますので本大会にあわせて皆さまのご参加をお願いいたします。

亡者は、当協会が設立された60年前と比べますと、約10分の1と大幅に減少しておりますが、建設業の死亡災害は全産業の約3割を占め、依然として全産業の中で一番多い業種であることは変わりありません。建設業が憧れの産業として、今後も安定的に発展するためには、建設士に従事する全ての方々が安全で安心して働くことのできる魅力的な職場環境づくりが非常に重要となっております。

こうした現状を踏まえ、建災防では令和5年度から令和9年度を計画期間とする「第9次建設業労働災害防止5ヵ年計画」を策定しました。この第9次計画の目標の設定を目指し、建災防におきましては、リスクアセスメントの確実な実施の推進、建設業労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）の導入促進、メンタルヘルス対策や化学物質管理への支援、さらに各種安全衛生教育などの活動に積極的に取り組んでまいります。

なかでも建災防の重要な活動の一つである、全国建設業労働災害防止大会は、会員をはじめ多くの関係者が一堂に会し、共通認識を分かち合うことで、労働災害防止活動の大切さを再認識し、災害ゼロを達成するために尽力することを心新たに誓うなど、安全意識の高揚を図る場として開催しております。また、各種講演会や研究発表、安全衛生保護具等展示会において、行政の動向や安全衛生管理ノウハウ・好事例等の最新情報を収集し実践に役立てることも目的となっております。

会員各位をはじめ、関係者の皆さまにおかれましては、本大会を契機として今後より一層の労働災害防止にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

今回の大会につきましては、10月3日は総合集会として、東京ビッグサイトに於いて開会式、安全衛生表彰、安全の誓いの採択を行った後、厚生労働省安全衛生部長様から「労働安全衛生行政の動向について」並びに脳科学者の茂木健一郎様の「ワーク・エンゲイジメンを高めるための脳のつくりかた」と題する講演会を開催いたします。

10月4日は専門部会として、例年開催している建築部会、土木部会、安全衛生教育部会、低層住宅部会、OHSMS部会、他に創立60周年記念部会を加えた6つの部会を東京国際フォーラムにおいて開催いたします。例年開催している5つの部会では、会員企業等において成果を上げた安全衛生対策の好事例を各部会で発表していただき意見交換等を行うほか、厚生労働省、国土交通省の行政担当官の方から安全衛生対策などについてご講演をいただきます。

また、創立60周年記念部会においては、建設業界が直面する課題である「2024年問題と労働災害防止」「技術継承と労働災害防止」「職場環境改善とコミュニケーション」と題する講演と好事例の発表を行います。専門部会における基調講演としては、日本航空の現役機長が「Safety Managementの実践」と題して、日本航空における安全管理についての講演を行いますので、参加ください。

なお、安全装置員等のメーカー等が出展する、安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会を、10月3日は東京ビッグサイト東8ホール、4日は東京国際フォーラムガラス展示棟地下1階ロビーギャラリーで開催いたしますので本大会にあわせて皆さまのご参加をお願いいたします。

TOKYOのみらいへ へつなぐ・つながる～
一般社団法人 東京建設業協会

会 長 乗 京 正 弘

東京都中央区八丁堀 2 丁目 5-1（東京建設会館）
〒104-0032 電話 (03)3552-5656 (代)

一般社団法人
東京都中小建設業協会

会 長 渡 邊 裕 之

東京都新宿区新宿 2-10-7（TOMビル 5 階）
〒160-0022 電話 (03)3356-7711

第62回 全国建設業労働災害防止大会 in 兵庫

総合部会 令和7年10月2日（木）ワールド記念ホール
専門部会 令和7年10月3日（金）神戸国際展示場

安全衛生保護具・測定機器・安全標識等展示会 同時開催!!

建設業労働災害防止協会

会 長 今 井 雅 則

U R L : <https://www.kensaibou.or.jp/>

建設キャリアアップシステム
人を大切に育てる新しいシステムです
事業者・技能者みなさまのご登録をお願いします

一般財団法人
建設業振興基金
理事長 谷 脇 暁



HPはこちらから↑

建設産業と、ともに歩みつづける
東日本建設業保証株式会社

本 社 〒104-8438 東京都中央区八丁堀 2-27-10

営業部 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館 2 階
TEL 03-3551-9511 FAX 0120-027-036

支 店 新宿・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井・静岡・愛知・岐阜・三重・大阪

建設業図書館 〒104-0045 東京都中央区築地 5-5-12 浜離宮建設プラザ 1 階

一般社団法人
全国建設業協会

会 長 今 井 雅 則

東京都中央区八丁堀 2 丁目 5-1（東京建設会館）
〒104-0032 電話 (03)3551-9396

一般社団法人 全国中小建設業協会

会 長 土 志 田 領 司

東京都中央区新富 2-4-5（ニュー新富ビル 2 階）
〒104-0041 電話 (03)5542-0331
U R L : <https://www.zenchuken.or.jp/>

全国仮設安全事業協同組合
Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety

理 事 長 近 藤 昌 三

東京都中央区日本橋小伝馬町 15-18
〒103-0001 電話 (03)3639-0641
U R L : <https://www.kasetsuanzen.or.jp>

大会
スローガン仲間の声で危険を防ごう、
みらいへつなぐ職場の安全

国土交通大臣 斉藤 鉄夫



創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

はじめに、本大会の主催者である建設業労働災害防止協会が創立60周年を迎えられましたこと、誠にめでたくございませう。建設業労働災害防止協会は、建設業における労働災害の防止に積極的に取り組まれており、60年という長きに亘る御尽力に対して、改めて深く敬意を表します。

また、労働災害防止活動に顕著な功勞・功績のあった安全衛生功勞者として表彰や顕彰を受けられる皆さまに対して、感謝申し上げますとともに、心よりお祝い申し上げます。

建設業は、国民生活や経済活動を支える「社会資本整備の担い手」であると同時に、災害対応の最前線を担う「地域の守り手」として、特に災害の多いわが国において重要な役割を果たしている暴幹産業です。

本年1月には、令和6年能登半島地震により、道路や上下水道施設を中心とするインフラ、多くの住家などに甚大な被害が発生し、9月には、復旧・復興の途上にある中での豪雨災害が生じました。このほかにも、令和6年台風第10号など、本年も多くの災害が発生しているところですが、建設業に従事される皆さまにおかれましては、応急対応・復旧・復興にあたり、連日、最前線でご対応いただいていることに深く感謝申し上げます。

今後も国土交通省として復旧・復興に全力で取り組んでまいります。が、「地域の守り手」である皆さまにおかれましては、引き続きのお力添えをお願いしたいと思っております。

人々が安心できる暮らしを作り上げる役割を建設業が果たしていく上で、建設業に携わる皆さまにとって安全な現場を確保し、労働災害のない安心して働

ることができると環境を築いていくことが欠かせません。

建設業における令和5年度の死亡災害発生件数は223人と、過去最少を記録しましたが、それでもなお、未だ毎年200人を超える方が労働災害により亡くなられていることを真摯に受け止める必要があります。

国土交通省では、昨年6月に改訂した「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画」に基づき、安全衛生経費が下請負人まで確実に行き渡るための取組を含めて、建設工事に携わる方々の安全の確保に向けた取組を着実に進めてまいります。

本年4月には新たな時間外労働の上限規制が開始されたところですが、建設業が将来にわたって社会的使命を果たし、持続的に発展していくためには、「処遇改善」や「働き方改革」、「生産性向上」を通じて、現場で活

躍しておられる皆さまがやりがいと誇りを持ち、次代を担う若者から選ばれる魅力的な産業としていくことが重要です。

例えば、公共工事設計労務単価は12年連続で上昇しており、令和6年3月の改訂は、物価上昇を超える、過去10年で最大の引上げとなりました。また、週休2日の定着・拡大などを進めているところです。

加えて本年6月には、第三次・担い手3法が成立いたしました。この法律によって、適正な労務費の確保と行き渡りを図り、資材高騰分の転嫁対策を強化すること、技能者の処遇改善に取り組む仕組みを設けることとしております。また、適正な工期設定対策による働き方改革や、ICT活用等による生産性の向上を図ってまいります。

建設業が「給与が良く、休暇が取れ、希望が持てる」、「そして「カッコいい」いわゆる「新4K」といわれる魅力的な産業となるように、官民一体となって取り組んでまいります。

結びに、本大会の成功と、関係各位のますますの御発展と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

建設業が魅力的な産業へ

厚生労働大臣 福岡 資麿



創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会の開催に当たり、御挨拶申し上げます。

建設業労働災害防止協会が創立60周年を迎え、本日、この記念すべき大会が、多くの皆さまの御参加を得て盛大に開催されますことを、まずもってお慶び申し上げます。また、長年に

亘りが国の労働災害防止活動に精力的に取り組んでこられた御功績により、米えある表彰を受けられる皆さまには、心よりお祝い申し上げます。

貴協会が設立された昭和39年当時は、わが国が高度経済成長を遂げる一方で、企業の安全衛生管理が行き届かない面が生

じ、建設業では、年間2405人の方が労働災害で亡くなるようになっていました。

このような中、貴協会におかれましては、建設業における自主的な労働災害防止活動をけん引され、永年にわたり社会的使命を果たしてこられました。

こうした先人のご努力と、今井会長をはじめ、会員の皆さまの活動の成果もあって、令和5年の死亡者数は、貴協会設立当時と比べ約十分の一に減少し、過去最少の223人となりました。

労働災害防止に御尽力されてきた貴協会に對しまして、改めて深く敬意を表するものであります。

しかし、労働災害による死者数を業種別で見ると、依然として建設業が最も多く、うち事

故の型別では、墜落・転落によるものが最多となっています。

このような状況も踏まえ、近年、手すり等の設置義務が課されていない一側（ひとかわ）足場（あしば）の使用範囲を明確化し、原則として本（ほん）足場（あしば）を使用することとしたほか、化学物質管理や石綿使用建築物の解体に関する各種規制の強化、職場における熱中症予防対策として、STOP! 熱中症クールワークキャンペーンの実施など、さまざまな災害防止対策を講じてまいりました。

さらに、現在、労働政策審議会の場において、建設業の一人親方を含む個人事業者等に対する安全衛生対策の強化や、機械の製造許可・検査制度のあり方などについて議論しています。

建設業にも大きく関係する制度見直しの議論であり、こうした動向も踏まえつつ、より一層安全衛生対策に取り組んでいただきたいと思っております。

本年の大会スローガンは、仲間の声で危険を防ごう、未来へつなぐ職場の安全です。

建設業界においては、働く方の高齢化や担い手不足といった困難な課題に直面していると認識しておりますが、そのような状況だからこそ、本年4月から適用された時間外労働の上限規制への対応や、働く方の安全と健康を守る取り組みが重要です。

こうした取り組みが貴重な担い手の確保・育成・定着へつながっていくものと確信しております。

結びになりますが、本大会の運営に御尽力いただきました建設業労働災害防止協会を始め、関係者の皆さまに改めて敬意を表しますとともに、皆さまの益々の御活躍と御健勝を祈念いたします。私のあいさつといたします。

働く方の安全と健康を守る



東京都技監都市整備局長 谷崎 馨一氏



国土省不動産・建設経済局長 平田 研氏



厚労省厚生労働審議官 田中 誠二氏



茂木 健一郎氏



厚労省労働基準局安全衛生部長 井内 努氏



建災防東京支部長 松井 隆弘氏

専門部会

69の研究発表行う

創立60周年記念部会を設置

創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会の専門部会が、4日に都内の東京国際フォーラムで実施された。今回は建築土木、安全衛生、コスモス、低層住宅の各部会に加え、特別に創立60周年記念部会を設置した。研究発表は建築14、土木13、安全衛生教育13、コスモス7、低層住宅14、創立60周年記念の合計69件だった。基調講演は日本航空運航訓練部価値創造室長。ボーイング767機長（兼）飛行訓練教官の石川宗氏が「JAL機長のSafety Managementの実践」のテーマで、航空機の安全運航について、刻々と変わる気象なフライト環境の変化に対応しながらも毎回違うメンバーでチームパフォーマンスを最大限に高め、Safety Managementを実践しているかを説明した。建設業労働災害防止協会の安全衛生保護員測定機器・安全標識等展示会は3日の東京ビックサイトに続き、4日も東京国際フォーラムのガラス棟地下1階ロビーで開かれ、多くの企業が出展し、各種実演などあり、賑わっていた。

専門部会プログラムは各会場で午前8時45分に開場し、9時から開会あいさつが行われた。続いて9時10分から1回目の発表がスタートした。今回のプログラム

△は、研究発表、講和、講演で構成した。講和は厚生労働省と国土交通省から担当者招いた。安全衛生部会では厚労省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長の土井智史氏の「労働災害防止に向けた厚生労働省の取り組みについて」、土木部会では国土交通省不動産・建設経済局建設市場整備課専門員事業・

建設関連産業振興室長の沖川弘毅氏による「建設業を取り巻く現状と国土交通省の施策の展望」があった。講演はいずれも創立60周年記念部会でされた。日経BP総合研究所社会インフラボトム研究員・野中賢氏の「2024年問題と労働災害防止」、KMユニテッド代表取締役社長Found&CEO・竹延オナー・竹延幸雄氏の「人を活かす、技に生きる―技術継承と労働災害防止―」、日本製鉄安全防災推進部部長・朱宮徹氏の「職場環境改善とコミュニケーション」だった。



山本部長

新たな安全活動―チャットGPTを活用したDXによる推進と安全活動の融合―の発表を行った。山本部長は、建設防が考案した新ヒヤリハット報告をヒントに、次世代に代わる新ヒヤリハット分析をはじめ、チャットGPTを活用した安全衛生のDX化の推進と安全活動を融合し、それによ

り、労働災害減少という未来を示した。安全衛生教育部会では、女性3人によるオレンジ隊（志村美紀隊長）が、「太陽のよけに明るい建設業を目指して―衛生文化を創る女性視点による25年の足跡―」のタイトルで、活動内容を紹介した。オレンジ隊は、「あたえよう再点検のプレゼント」を合言葉に、現場で働く人々に安全衛生の『さつき』をさまざまな形で伝えていく。その25年間の足跡を披露した。

オレンジ隊の皆さん

建災防山梨県支部が2部会で研究発表

4日に都内の東京国際フォーラムで開催された創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会の専門部会では、建設業労働災害防止協会山梨県支部から3つの研究発表があった。

創立60周年記念部会では、山本憲一郎氏が「新ヒヤリハット報告がもたらす



オレンジ隊の皆さん



建築部会による開会あいさつ



日本航空・石川宗氏



【創立60周年記念部会】KMユニテッド 竹延幸雄氏



【創立60周年記念部会】日経BP総合研究所 野中賢氏



【創立60周年記念部会】日本製鉄 朱宮徹氏



【建築部会】前田建設工業東京建築支店 林昌記氏



【土木部会】東洋建設関東支店 坂本一真氏



【コスモス部会】三浦工務店 酒井利久氏



【低層住宅部会】全国低層住宅労働安全協議会 浅岡みづき氏



厚労省労働基準局安全衛生部 土井智史氏



国土省不動産・建設経済局 沖川弘毅氏

